

歌壇

大下一真選

特選

災害にめげじと希望蒔きしそば輝き白く山畑埋む

大塚 加藤 喜雄

五人の子八十代に近付けり唯健やかにと祈るのみ母は

西片 松林 利枝

ハイと返事言えないままに君のあとついて歩みし焼野の銀座

千駄木 石井 禮子

入選

陸奥の楽しき旅の足跡を消し去る如く豪雨は続く

千駄木 上杉 紀世子

鬼蜻蜒たじろぐほどの大きな眼間近に飛びて思わず避ける

小日向 内野 仙也

野良仕事楽しけれども吾に向かう草刈り鎌の刃の怖かりき

千石 菊地 正矩

わが歌の「区報」に載れば久々にケータイひびかせ友よりの声

本駒込 唐木 よし子

エクレール提げて友訪う午下り心はいつかパリッ娘めきて

千石 小出 風沙子

はらはらと銀杏の落ち葉が空を舞う己が運命を楽しむように

本郷 堺 公美

一葉の恋路たどりて巡る墓桃水・緑雨に曼殊沙華咲く

水道 菅井 茂子

俳壇

松澤 雅世 選

特選

大気圏ほどの薄さや林檎剥く

千石 竹居 陽一

秋風に押され口笛遠去かる

千石 菊地 正矩

この星の裏側見たし蟬の穴

向丘 丸岡 正児

入選

山の温泉に揺蕩う銀河掬ひをり

小日向 内野 仙也

ダンスする小人生れる星月夜

西片 中島 多津子

四分音符風とポルカや吾亦紅

向丘 片岡 マサ

次の雲が隠ししまでの月見かな

向丘 高野 伸子

炎暑日の晩景にこそ欲しきもの

小石川 荻原 和夫

山の日やカール・ブッセの声がする

春日 二村 吉光

鳥渡る横切ることに躊わず

千駄木 山田 鈴女